

鹿児島都市計画都市高速鉄道
JR 指宿枕崎線

第 10 章 高架下利用



市営谷山電停自転車等駐車場

第 10 章 高架下利用

10-1 高架下利用計画

(1) 高架下利用に関する経緯

指宿枕崎線の高架化に伴って新たに生じる高架下の利用については、連続立体交差事業の都市計画決定に先立って行った都市計画法第 23 条第 6 項に基づく協議において、JR九州の事業に必要な部分を除き、鹿児島市が高架下を借り受けることとしました。借受位置及び賃料などの詳細については、別途協議することとし、平成 18 年 3 月 29 日に覚書を交換しました。

その後、平成 25 年 8 月に鹿児島市にて、高架下空間の利用に関する調査・検討及び整備後における維持管理等の検討を目的に谷山地区連続立体交差事業高架下利用検討ワーキンググループ（以下「高架下ワーキング」という。）を設置し、高架下利用に関する基本的な考え方の整理や高架下利用に関する地元意向の調査を行いました。

また、高架下ワーキングでの検討内容を踏まえて、平成 25 年度から鹿児島市、JR九州にて高架下の借受位置及び賃料などについて繰り返し協議を行い、平成 28 年 3 月に高架下利用計画を策定しました。

覚書（平成 18 年 3 月 29 日）

（高架下利用）

第 4 条 高架下の利用及びその使用料については、要綱第 10 条及び細目要綱第 16 条の規定に基づくものとし、その詳細については、甲（鹿児島市）・乙（JR九州）協議するものとする。

2 甲は、乙の事業に必要な部分を除き、高架下を借り受けるものとする。なお、借受位置及び賃料等の詳細については、別途甲・乙協議するものとする。

3 甲は、駅部を含む高架下において、甲の管理する駐輪場を設置する場合は、甲の負担で設置するものとし、乙はこれに協力するものとする。なお、設置位置等の詳細については、別途甲・乙協議するものとする。

(2) 高架下利用に関する基本的な考え方

① 地域特性を踏まえた検討

高架下利用の検討にあたっては、用途地域や土地利用状況など鉄道周辺の地域特性を勘案し、高架化区間を大きく 4 つのゾーンに区分したうえで、ゾーン毎に高架下の利用方針をとりまとめる。



ゾーン区分	D 慈眼寺駅周辺	C 高架一般部	B 谷山駅周辺	A 谷山電停周辺
用途地域	準住居 第一種低層住居	準住居 第二種中高層住居	商業	商業 第二種中高層住居
土地利用状況	低層住宅地	西側 [文教地区] 東側 [住宅街]	商業業務地区を誘導	西側 [店舗付住宅等] 東側 [商業・業務系]
主要幹線道路	御所下和田名線	辻之堂本城線 惣福森山線	国道 225 号 南清見諏訪線	国道 225 号
公共交通機関	慈眼寺駅	—	谷山駅	谷山電停
基盤整備状況	西側 [谷山第二地区] 東側 [谷山第一地区]	西側 [谷山第二地区] 東側 [谷山第一地区]	[谷山駅周辺地区]	西側 [桜川地区] 東側 [小松原地区]

図 10-1 高架下利用検討ゾーン区分図

② 公共利用のあり方

高架化区間には、公共交通の主要拠点である谷山電停、谷山駅、慈眼寺駅があることから、公共交通機関の利用促進を図るため、利用者の状況を踏まえたうえで、駐輪場の確保を優先的に検討する。

③ 地元意向の把握

高架下利用の検討にあたっては、沿線住民をはじめとする地元の意向把握が肝要であることから、沿線住民等を対象としたアンケート調査を実施するとともに、周辺活動団体からの意見を聴取する。

(3) 高架下利用に関する地元意向調査

① アンケート調査

■ 対象者

(住 民) 周辺住民の中から無作為に抽出・・・2,000名、沿線住民・・・2,396名
(鉄道利用者等) 周辺学生(学校関係者を含む鉄道沿線の中学生、高校生)・・・405名

■ 実施期間：平成 26 年 9 月 16 日 (火)～9 月 30 日 (火) (15 日間)

■ 調査票

アンケート調査票 (おもて)

I 最初にあなた自身のことについてお尋ねします。
※ 選択した番号を○で囲んでください。

問 1 あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性

問 2 あなたの年齢を教えてください。

1. 19 歳以下 2. 20～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳
5. 50～59 歳 6. 60～69 歳 7. 70 歳以上

問 3 あなたの就業の状況を教えてください。

1. 自営業 2. 会社員・公務員 (派遣・契約社員を含む)
3. パート・アルバイト 4. 学生
5. 主婦・主夫 6. 無職・その他

問 4 日常利用される主な交通手段を教えてください。(複数選択可)

1. JR 2. 市電 3. バス 4. 自家用車 5. バイク・原付
6. 自転車

問 5 JR 指宿枕崎線で普段利用している駅を教えてください。(主な駅を 1 つ)

1. 谷山駅 2. 谷山駅と谷山電停 (市電乗り継ぎ) 3. 慈眼寺駅

問 6 JR 指宿枕崎線の利用目的を教えてください。

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. その他

うら面もご記入ください。

アンケート調査票 (うら)

II 高架下利用に関して、あなたの意見を聞かせてください。

問 7 高架下についてどんな利用ができれば良いと思いますか？

下の地図に記載した A～D のエリアについて、下の枠内に記載している①～⑩「高架下の利用 (例)」の番号から選んで、エリアごとに下の表にご記入ください。(複数可)

A 慈眼寺駅周辺	B 高架一般部	C 谷山駅周辺	D 谷山電停周辺
下の点線の枠内にある ①～⑩から選んで記入 (複数可)	下の点線の枠内にある ①～⑩から選んで記入 (複数可)	下の点線の枠内にある ①～⑩から選んで記入 (複数可)	下の点線の枠内にある ①～⑩から選んで記入 (複数可)

高架下の利用 (例)

① 駐輪場
② レンタルサイクル
③ 月極駐車での利用 (通勤等の定期利用等)
④ 時間貸し駐車での利用 (駅周辺施設利用)
⑤ 簡易な行政サービス (図書返却等)
⑥ 地域の人の交流の場として利用 (おしゃべりや会議、イベント、フリースペース)
⑦ 健康維持増進のための屋外運動等での利用。
⑧ 読書や勉強、生涯学習等での利用。
⑨ 休憩場所として雨天時等も使用しやすい遊歩道、広場、緑地等。
⑩ 市民が地域の情報を発信できる簡易的なインフォメーションやギャラリー等での利用
⑪ 緊急時に役立つ防災倉庫等構想スペースとして利用
⑫ 花壇や菜園等での利用

「高架下の利用 (例)」①～⑩については、開封した資料の裏面に写真を添付していただきますのでご参考にしてください。

問 8 「こういうふうにご利用したい」「こんな利用法があれば良いのではないか」という意見がございましたら、該当するエリアごとに意見をご記入ください。(全てのエリアに記入されなくても良いです)

場 所： A 慈眼寺駅周辺
ご意見：

場 所： B 高架一般部
ご意見：

場 所： C 谷山駅周辺
ご意見：

場 所： D 谷山電停周辺
ご意見：

(注意)
ご記入していただきました意見の全てが実現されるわけではありません。
予めご了承ください。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

■回答

表 10-1 アンケート調査回答数

	対象者及び配布方法	配布数	回答数	回収率
a 周辺住民	無作為抽出（郵送）	2,000	609	30.5%
b 沿線住民	連立だより配布者（投函）	2,396	473	19.7%
c 周辺の学生 （学校関係者含む）	鹿児島南高等学校、鹿児島情報 高等学校、開陽高等学校、谷山 中学校、鹿児島盲学校（持参）	405	365	90.1%
総計		4,801	1,447	30.1%

■アンケート調査結果

駅周辺（谷山電停周辺、谷山駅周辺、慈眼寺駅周辺）の傾向

- ・住民、学生ともに「駐輪場」の要望が最も多い
- ・住民の要望で次に多いのは「時間貸し駐車場」
- ・学生の要望で次に多いのは「休憩場所として雨天時等も使用しやすい、遊歩道、広場、緑地等」
- ・周辺活動団体の意見は谷山電停付近で店舗利用者の為の駐車場が必要であるとの要望

高架一般部の傾向

- ・住民、学生ともに「休憩場所として雨天時等も使用しやすい遊歩道、広場、緑地等」の要望が最も多い
- ・住民、学生ともに次に多いのは「健康維持増進のための屋外運動等での利用」

その他共通した自由意見等や要望

- ・雨天時でも利用しやすい施設
- ・子供や高齢者に配慮した施設
- ・高架下は防犯性を高める

表 10-2 アンケート調査結果

種別	駅周辺地域		高架一般部	
	住民	学生	住民	学生
駐輪場	◎	◎	—	—
駐車場（時間貸し）	○	—	—	—
休憩場所として雨天時等も使用し やすい遊歩道、広場、緑地等	—	○	◎	◎
健康維持増進のための屋外運動等 での利用	—	—	○	○

◎：最も要望が多かった ○：次に要望が多かった

②意見聴取

■対象者

- ・ 周辺活動団体（例：町内会や通り会、PTA などの周辺活動団体）

■募集方法

- ・ 鹿児島市ホームページ
- ・ 鹿児島市谷山支所、谷山サザンホール、谷山駅、慈眼寺駅、谷山電停へ「お知らせ」を掲示
- ・ かごしま市商工会谷山本所、鹿児島南高等学校、鹿児島情報高等学校、鹿児島盲学校、谷山中学校、開陽高等学校へ「お知らせ」の案内及び掲示

■募集期間：平成 26 年 10 月 10 日（金）（掲示開始日）～10 月 31 日（金）まで

■応募団体：1 団体（谷山電停前通り会）

■実施日：平成 26 年 10 月 30 日（木）

■主な意見

- ・ 谷山電停付近で、50 台以上の規模の駐車場が必要



写真 10-1 谷山電停付近高架下駐車場

(4) 高架下利用計画

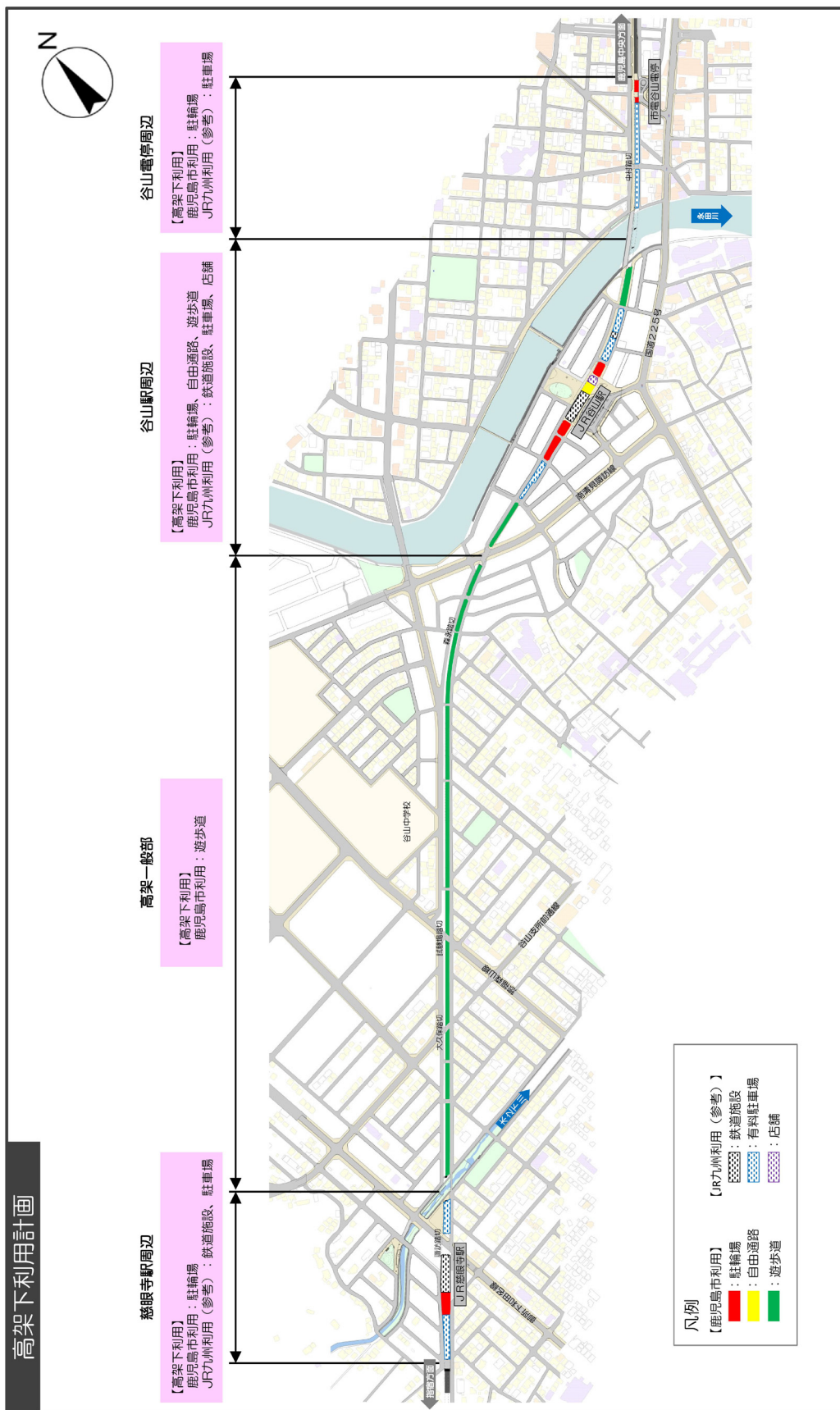


図 10-2 高架下利用計画

10-2 高架下等整備

(1) 駐輪場

①谷山電停

高架下：166 台（自転車：114 台、原付：47 台、自動二輪：5 台）

鉄道残地：585 台（自転車：537 台、原付：48 台）

合計：751 台（自転車：651 台、原付：95 台、自動二輪：5 台）

②谷山駅

高架下：438 台（自転車：393 台、原付：40 台、自動二輪：5 台）

換地：391 台（自転車：391 台）

合計：829 台（自転車：784 台、原付：40 台、自動二輪：5 台）

③慈眼寺駅

高架下：385 台（自転車：355 台、原付：25 台、自動二輪：5 台）

換地：287 台（自転車：287 台）

合計：672 台（自転車：642 台、原付：25 台、自動二輪：5 台）



写真 10-2 市営谷山電停自転車等駐車場



写真 10-3 市営谷山駅自転車等駐車場



写真 10-4 市営慈眼寺駅自転車等駐車場

(2) 遊歩道

①永田川（右岸）	～ 区画道路 6-2 号線	L = 約 60m
②区画道路 10-2 号線	～ 南清見諏訪線	L = 約 100m
③南清見諏訪線	～ 区画道路 7-1 号線	L = 約 60m
④区画道路 7-1 号線	～ 旧森永踏切	L = 約 60m
⑤旧森永踏切	～ 旧田辺第 1 踏切	L = 約 130m
⑥旧田辺第 1 踏切	～ 旧田辺第 2 踏切	L = 約 130m
⑦旧田辺第 2 踏切	～ 旧陣之平踏切	L = 約 190m
⑧旧陣之平踏切	～ 旧試験場踏切	L = 約 70m
⑨旧試験場踏切	～ 旧大久保踏切	L = 約 140m
⑩旧大久保踏切	～ 旧本庄踏切（付替）	L = 約 50m
⑪旧本庄踏切（付替）	～ 木之下川（左岸）	L = 約 190m

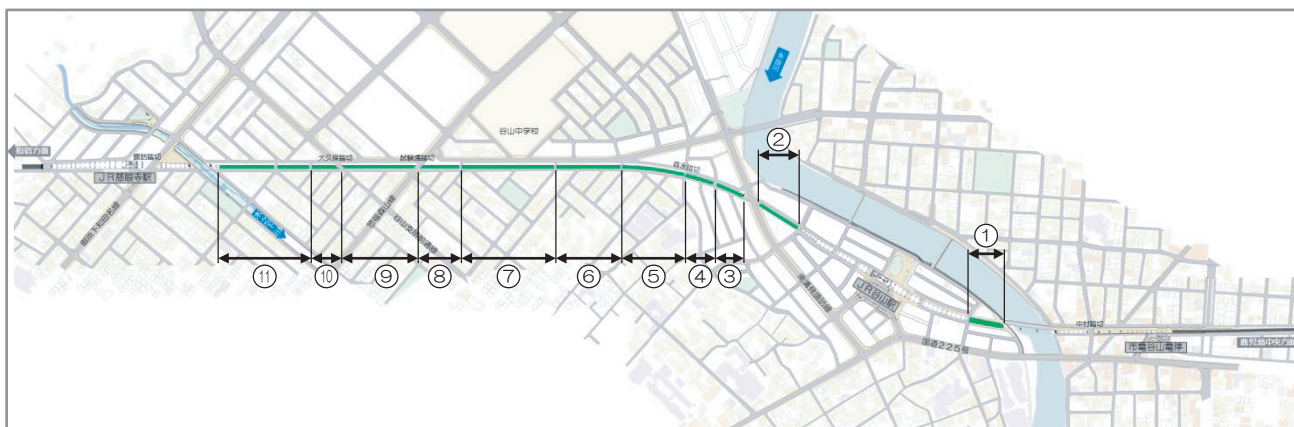


図 10-3 遊歩道位置図



写真 10-5 遊歩道（旧森永踏切付近）

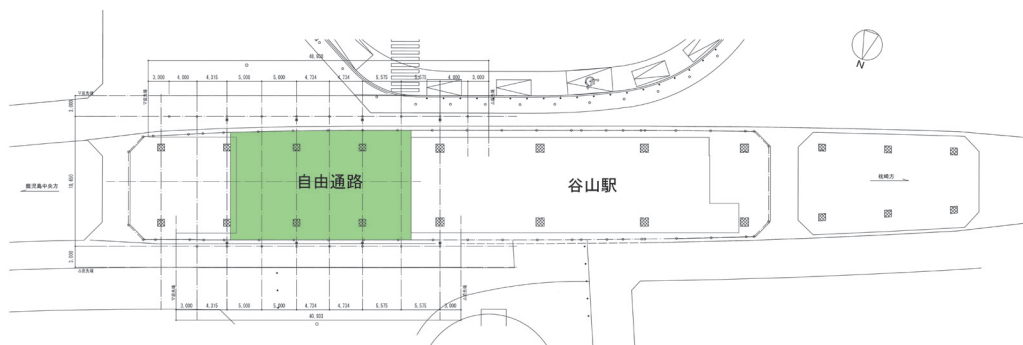


写真 10-6 遊歩道（旧田辺第 1 踏切付近）

(3) 自由通路

谷山駅高架下自由通路 $A = \text{約 } 400 \text{ m}^2$

平面図



断面図

立面図

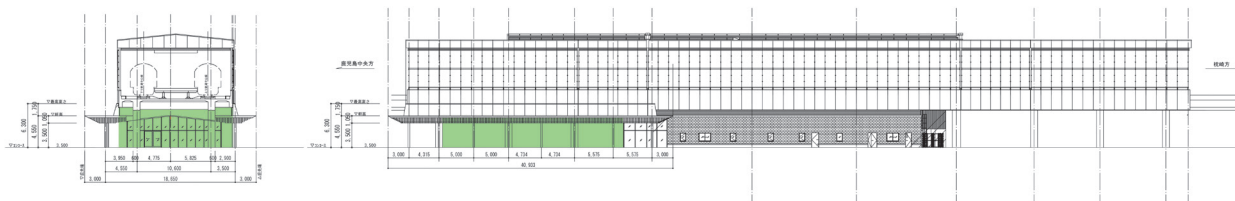


图 10-4 谷山駅自由通路平面図・断面図・立面図



写真 10-7 谷山駅自由通路



写真 10-8 谷山駅下屋